	<u>芘上耒</u> 高寺	專門学	交 開講年月	夏 令和02年度 (2	2020年度)		業科目	<u>分子生物学</u>			
枓目基	礎情報					,					
科目番号		0179			科目区分		専門 / (生)コース必修				
授業形態 授業				_		位数	学修单位: 2				
開設学科生物応用化			 用化学科			対象学年		4			
開設期		後期			週時間数		2				
教科書:「			: 「Essential細胞 化学同人)など			中村 桂子 監訳(南江堂)		/参考書:「分子細胞生物学」石浦 章一 他 🥫			
担当教員		山口羽									
到達目	 標	•									
	こおける遺伝 っている.	情報の維持	・発現の様式や,	それと生命活動との関	係に関する専門的	別知識を	身に付け,工	学に応用できる	5生物現象の専門知識		
ルーブ	`リック										
				理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安			
評価項目1			DNAの構造と 構を理解し, 結びつけて訪	DNAの構造と複製・転写・翻訳機 構を理解し,生物の発生や生理と 結びつけて説明できる.		DNAの構造と複製・転写・翻訳構を理解している.		DNAの構造と複製・転写・翻訳機構を理解していない。			
評価項目2			遺伝子の発現分化や機能のる.	見調節を理解し,細胞)発現と関連づけられ	遺伝子の発現調節を理解している		遺伝子の発現調節を理解していない.				
評価項目3			期を理解して	型内情報伝達や細胞周 こおり,発生や疾患な けて説明できる.	細胞間・細胞内情報伝達や細期を理解している.		をおおおおおおおおおおおおおおまままで	細胞間・細胞内情報伝達や細胞周 期について理解していない.			
 学科の	到達目標」	 項目との	-		•			•			
 教育方											
概要		基礎を	身に付ける.この	を分子の構造と機能に基づいて解明する分子生物学は、生物科学、生命科学の根幹をなす分野である。な 伝情報の維持、伝達、発現および情報伝達機構を分子レベルで理解することを目的とし、生物工学系の科に付ける。この科目は、企業・研究所で医薬品の研究や動物発生の研究を分子生物学的手法を用いて行っ分子生物学について講義するものである。							
 授業の追	重め方・方法	・授業	は講義・聴講形式	教育目標(B)<専門 で行う. 各週の「到達目標」は		_ <u></u> }する「4	 記識・能力 I	 に相当するもの)とする		
注意点		<学業 終評価 験を行 で置き	成績の評価方法お。 iとする. 但し, 前 い, 再試験の成績 :換えるものとする	むね同じである.合計 よび評価基準>後期中間 期中間・後期中間の評 が該当する期間の成績 .前期末・学年末試験	点の60%の得点で間・学年末の試験だ価で60点に達して を上回った場合に については再試験に	ご, 目標 結果をそ こいない こは, 60	の達成を確認 れぞれの期 学生(無断: 点を上限と	認できるレベル 間毎に評価し、 欠席の学生を除	これらの平均値を聞 く)については再記		
主意点		<終験でくくいく能	成績の評価方法お。 になる。 にい、再試験の成績。 換えるものとする。 取得要件>学業成績 かじめ要求される』 と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 期中間・後期中間の評 が該当する期間の成績 前期末・学年未試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 加的にプリントを配布(ルで学コースの諸講義。	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で, 目標 結果をそ こいない には, 60 後を行わが 基礎生物: 基礎生物:	の達成を確認を確認されています。 かまでは、無断にはない。 はない。 対しないとない。 対しないという できることがあることがあ	認できるレベル間毎に評価し, 欠席の学生を除 して当該試験の 物化学の基礎知 る、この講義(の試験を課す. これらの平均値を見らく) については再覧の成績を再試験の成績を再試験の成績を十分に理解しては現代科学V,生命機		
	·画	<終験でくくいく能	成績の評価方法お。 記する. 傾し方法 前 にい、再試験の成する 取得要件>学業成績 かじめ要求される! と、教科書以外に補題 ・4・5年次の生物	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 期中間・後期中間の評 が該当する期間の成績 前期末・学年未試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 加的にプリントを配布(ルで学コースの諸講義。	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で, 目標 結果をそ こいない には, 60 後を行わが 基礎生物: 基礎生物:	の達成を確認を確認されています。 かまでは、無断にはない。 はない。 対しないとない。 対しないという できることがあることがあ	認できるレベル間毎に評価し, 欠席の学生を除 して当該試験の 物化学の基礎知 る、この講義(の試験を課す. これらの平均値を見らく) については再覧の成績を再試験の成績を再試験の成績を十分に理解しては現代科学V,生命機		
	· 画	<終験でくくいく能	成績の評価方法お。 記する. 傾し方法 前 にい、再試験の成する 取得要件>学業成績 かじめ要求される! と、教科書以外に補題 ・4・5年次の生物	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 期中間・後期中間の評 が該当する期間の成績 前期末・学年未試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 加的にプリントを配布(ルで学コースの諸講義。	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で, 目標 結果をいい には, 60 後を行われ 基礎生物: 義に含め、	の達成を確認を確認されています。 かまでは、無断にはない。 はない。 対しないという できない。 できない。 できないがある。 できない。 できない。	認できるレベル間毎に評価し, 欠席の学生を除 して当該試験の 物化学の基礎知 る、この講義(の試験を課す. これらの平均値を見らく) については再覧の成績を再試験の成績を再試験の成績を十分に理解しては現代科学V,生命機		
	·画	く終験でくくいく能履業値行き位らご考学す	成績の評価方法おいた。 はする・個し、前 い、再試験の成績る 取得要件>学業成績 かじめ要求される。 と、 ・ 大・5年次の生物 で、る際の基礎となる	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 期中間・後期間のの減 が該当する期間の成績 ・前期末・学年末試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布し ル学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	ご結果ない。 信果ない。 はたでは、 には、 には、 でをを ででを ででで、 でで、 でで、 でで、 でで、 で	の達成を確期でれて、 では、 では、 では、 には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	認できるレベル間毎に評価し, 欠席の学生を除 して当該試験の 物化学の基礎知 る、この講義(の試験を課す。 これらの平均値を負 く)については再記 の成績を再試験の成績 を十分に理解して は現代科学V,生命機 学,細胞情報科学を		
	·画	く終験でくいく能履週週週週週週	成績の評価方法お。 記する・個した、前 では、再試験では、 一般を表するを 取得要件、学業成績 かじめ要求される。 と、教科書以外に補限 こと、教科書以外に補限 、4・5年次の生物 での基礎となる 一般である。 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、 一を、	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 財中間・後期中間の所 が該当する期間の成績 前期末・学年未試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布し ル学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ない にはを存生物 を養に学, 週ごと 1. DN/	の達成を確期でれて、 のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	認できるレベル間毎に評価し、 欠席の学生を除して当該試験の か化学の基礎知る。この講義に ず、生体機能工	の試験を課す。 これらの平均値をは く)については再記 の成績を再試験の成績 識を十分に理解して は現代科学V,生命機 学,細胞情報科学を 明できる。		
	·画	く終験でくいく能履 学評を置単ある備工修 週 週 2週	成績の評価方法お。 記さする・個したが にい、再試験の成する 取得要件>学業成績 かじめ要求される。 と、教科書以外に補限 と、教科書以外に補限 、4・5年次の生物 、4・5年次の基礎となる 一段業内容 DNAの構造と機 真核生物の染色	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 財中間・後期中間の所 が該当する期間の成績 前期末・学年未試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布し ル学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で、自標をいいては、行われている。 は、行われている。 では、行われている。 では、行われている。 では、行われている。 では、行われている。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	の達成を確期でれて、大学には、大学のでは、大学を上して、大学のでは、ないがは、ないがは、ないがは、ないがは、はないのは、ないがは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいいは、はいい	認できるレベル間毎に評価し、 対策の学生試験の か化学の基礎知 る. この講義に 学, 生体機能工 能について説に 体構造を説明	の試験を課す. これらの平均値を見く)については再成 の成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解して は現代科学V,生命機学,細胞情報科学を 明できる.		
		終験でくいく能履週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週週	成績の評価方法お。 はする・個した、前 にか、再試験のよう。 取得要件>学業成績 かじめ要求される。 と、教科書以外に補助 4・5年次の生物 で、本等の基礎となる。 授業内容 DNAの構造と機 真核生物の染色 DNA複製	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまな期間のの が該当する期間の成績 前期末・学年末試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布に が学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ない にはたいは、行わか にはを 養 でではを 養 ででは、 で で で で で で で で で で で で で で で で で	の達成を確期でれて、 できない からない からない からない からない からない からない からない から	認できるレベル間毎に評価と呼吸できるとでは、 関毎に評価と呼いている。 の化学の基礎知る。この講義に 学、生体機能工 能について説に 体構造を説明できる。	の試験を課す。 ごれらの平均値を見 (く)については再記 の成績を再試験の成績 を十分に理解して は現代科学V,生命機 学,細胞情報科学を 明できる。		
	画 3rdQ	本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語 本語	成績の評価方法お。 iとする・・ はっていた。 はっていた。 はっていた。 はっていた。 はっていた。 はったが、 はいかいが、 はいがいが、 はいがいがいが、 はいがいが、 はいがいが、 はいがいがいが、 はいがいが、 はいがいがいが、 はいがいがいがいが、 はいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまな期間のの が該当する期間の成績 前期末・学年末試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布に が学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ない。 目標をいい。 にはを整備を でにはをを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の達成を確期では、	認できるレベル間毎に評価に評価に評価の学生を除いて当該試験のの出すができません。 この講義に学、生体機能工能について説に体構造を説明できる。 独え機構が説	の試験を課す。 ごれらの平均値を見 (く)については再記 の成績を再試験の成績 を十分に理解して は現代科学V,生命機 学,細胞情報科学を 明できる。		
		※験でくいく能履 週週週週週 3週週 4週 5週	成績の評価方法お。 は有る:解析では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまな期間のの が該当する期間の成績 前期末・学年末試験 責で60点以上を習得す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布に が学コースの諸講義,	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果では、600mm を持ちません。 日標をよいは、行いた。 にはをを養え 一週でいた。 のののでは、 ののでは、	の達成を確期では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	認できるレベル間毎に評価に評価に評価に対して当該試験ののと学の基礎知る。この講義に学、生体機能工能について説に体構造を説明できる。 は、本構造を説明できる。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれらの平均値を見 (く)については再記 の成績を再試験の成績 を十分に理解して は現代科学V,生命機 学,細胞情報科学を 明できる。		
		※験でくいく能履 週週週週週 3週週 5週 5週 6週 6週	成績の評価を持ちます。 は、	むね同じである。合計 よび評価を準>後期や間中 期中間の評価を準別である。 前期中間の評価を期間の成績 でもの点以上を習得すまででは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ないの 目標をいい。 にはを にはを にはを 表す 一型 ののの のののでは ののでは のののでは のので のので	の達成を確期では、 学のでは、 では、 がないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	認できるレベル 間毎に評価を除 りて当ないでは、 か化学の基礎知 る、この構義に が、生体機能工 を説明できる。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	の試験を課す。 ごれらの平均値を見 くく)については最高 の成績を再試験の成績 を再試験の成績 は現代科学V,生命様 学,細胞情報科学を 明できる。		
		※験でくいく能履 週週週週週 3週週 4週 5週	成績の評価方法お。 は有る:解析では、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	むね同じである。合計 よび評価を準>後期や間中 期中間の評価を準別である。 前期中間の評価を期間の成績 でもの点以上を習得すまででは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、 はでは、	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	に に に に に に に に に に に に に に	の達成を確期では、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	認できるレベル、 間毎に評価を除いて 関係の学数は 関係の学数は 関係の学数は 関係のできる。 は他について説は 体構造をできる。 は他について説は 体構ができる。 は他にできる。 と。 は他にできる。 は他にでき。 と。 と。 は他にできる。 と。 はた。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	の試験を課す。 ごれらの平均値を試 さく)については最高 の成績を再試験の成績 を再試験の成績 を再試験の成績 は現代科学V、生命様学、細胞情報科学 のできる。		
受業計		※験でくいく能履 週週週週週 3週週週週 50 6月 7週 7月 20 7月 30 7月 40 7月 50 7月 60 7月 70 7月 <td>成績の評価という。 はしている。 は大きない。 はたい。</td> <td>むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまな期中間の記 が該当まる。 前期末・学年末間の記 責で60点以上を習りま は は は は は は は い に で い に で ら の に が い に い に い に い に い に い に い に い に い に</td> <td>点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講</td> <td>で結果ないのでは、 目標でいる。 はを一様には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で</td> <td>の達成を加速では、</td> <td>認できるレベル 間角に評価を記述しい 関係の学生験の か化学の基礎知 る. 生体機能工 能について説に 体構造をごきる。 1換え機構が説明できる。 1換別できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 10世間できる 10世間で 10世間で 1</td> <td>の試験を課す。 ごれらの平均値を試 さく)については最高 の成績を再試験の成績 を再試験の成績 を再試験の成績 は現代科学V、生命様学、細胞情報科学 のできる。</td>	成績の評価という。 はしている。 は大きない。 はたい。	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまな期中間の記 が該当まる。 前期末・学年末間の記 責で60点以上を習りま は は は は は は は い に で い に で ら の に が い に い に い に い に い に い に い に い に い に	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に達して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ないのでは、 目標でいる。 はを一様には、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	の達成を加速では、	認できるレベル 間角に評価を記述しい 関係の学生験の か化学の基礎知 る. 生体機能工 能について説に 体構造をごきる。 1換え機構が説明できる。 1換別できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 1晩間できる。 10世間できる 10世間で 10世間で 1	の試験を課す。 ごれらの平均値を試 さく)については最高 の成績を再試験の成績 を再試験の成績 を再試験の成績 は現代科学V、生命様学、細胞情報科学 のできる。		
受業計		く終験でくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 学評を置単ある備工修 1 2 3 4 5 6 7 8 1 3 4 5 6 7 8 7 8 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 </td <td>成績の評価として、 はする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・</td> <td>むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまる期間のの が該当する期間の成績 でもの点以上を習得す までもの点以上を習得す はでもの点以上を配布 が防じプリントを配布 が学コースの諸講義。</td> <td>点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講</td> <td>で結果ないのでは、 はを</td> <td>のまた。 学 る分 の</td> <td>認できるレベル (別できる) (別できる) (別できる) (別できて評価で学生 (別できる) (別できる) (別できる) (別できる) (別できる) (別のできる) (</td> <td>の試験を課す. これ験を課す. これらの平均値を言く)については再請診の減績を再試験の成績を再試験の成績を十分に理解しては現代科学V,生命検学,細胞情報科学を関できる. できる。</td>	成績の評価として、 はする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 りまる期間のの が該当する期間の成績 でもの点以上を習得す までもの点以上を習得す はでもの点以上を配布 が防じプリントを配布 が学コースの諸講義。	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結果ないのでは、 はを	のまた。 学 る分 の	認できるレベル (別できる) (別できる) (別できる) (別できて評価で学生 (別できる) (別できる) (別できる) (別できる) (別できる) (別のできる) (の試験を課す. これ験を課す. これらの平均値を言く)については再請診の減績を再試験の成績を再試験の成績を十分に理解しては現代科学V,生命検学,細胞情報科学を関できる. できる。		
受業計		く終験でくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 9	成績の評価しのは は大きない。 はたい。 はた	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 よび評価基準>後期中間 が該当中間の記 が該当ま・学年末 責で60点以上を習母す 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布 別化学コースの諸講義。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結い。 にはできる。 はでは、 にはできる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の た で 大 に で に に に に に に に に に に に に に	認できるアンベルの間間を できる アンベル できる アンベル できる アンベル できる アンベル できる アンベル かん 学 の の と で かん 学 の の に から で がら で がら で がら で がら で で で がら で で で がら で で で で	の試験を課す. ごれらのいては応じいては成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績である。は現代科学V、生命様学,細胞情報科学を関できる。 明できる。 明できる。 明できる。 明できる。 目できる。 別できる。 目がきる。 目がきる。 目がきる。 目がきる。		
受業計		く終験でくいく能履 週週週週週週 1週週週週週 5週週週 8週週 10週週 10週週 10週週 10週週 10週週 10週週	成績の評価しのは では では できます できます できます できます できます できます できます できます	むね同じである。合計 よび評価を選挙>後期中間 よび評価を選挙を期中間の評 が該判しまる期間の成績 責で60点以上を習得する 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布し が学コースの諸講義, ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結いない。 にはを ではいない。 にはを では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	のおきない。 学 る分 の の は の 製 復 組 組 現 に 現 に が は と は を か 製 復 組 組 現 に 現 の 動 報 報 を の と は ま 子 一 の い の と は が み と は ま 子 一 の と の と の と は ま 子 一 の い の と は か み を 語 書 節 が に に が か に に せ か な か か に に せ か か で に か か か で に か か か で に か か か で に か か か で に か か か で に か か か で か か か で に か か か か	認できるアンベルの間間を できる アンベル できる アンベル できる アンベル できる アンベル できる アンベル かん 学 の の と で かん 学 の の に から で がら で がら で がら で がら で で で がら で で で がら で で で で	の試験を課す。 ごれらの当り値を見 さく)については成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績を再試験の成績 は現代科学V、生命検学、無利学を は現代科学をある。 関できる。 関できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。		
受業計	3rdQ	く終験でくいく能優 週週週週週週週 12週週週週週週 10週週週 10月週週週 10月週 11月週 10月週 11月 10月週 11月 10月週 11月 10月週 11月 10月回 11月 10月回	成績の記している。 では、	むね同じである。合計 よび評価を選挙>後期中間 よび評価を選挙を期中間の評 が該判しまる期間の成績 責で60点以上を習得する 基礎知識の範囲>2年次 か的にプリントを配布し が学コースの諸講義、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結い。 目標でいるのか。 はではをでする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の が で が で に が に に の の の の に の の に の に の に に の に に の に の に に の に の に に の に に に に に に に に に に に に に	認できるに対していた。 できる評価を除いた。 が化学では、 が化学では、 が化学では、 が化学では、 が化学では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 が作品では、 がいた。 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、	の試験を課す。 ごれらのいては時を課す。 ごれらの平均値を試 (くく)については成成 (は大利等では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般		
受業計	3rdQ	く終験でくいく能履 週週週週週 1週週週週 3週週週 6週週 10週週 11週週 12週週週週 12週週週週 12週週週 12週週週 12週週週 12週週 12週週 12週週 12週週 12週 12週 12週 12回 12回 <td>成績の記している。 はしている。 はしている。 はいたでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ</td> <td>むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 よび評価基準>後期中間 が該判中間のでは が該当期末・学年を関係である。 責で60点以上を習りましたを はいでは、 はいでは、 はいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は</td> <td>点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講</td> <td>で結いできる。 はをでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>のれます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、</td> <td>認できるにかいした。 できる評価を除いた。 がいた。 がいた。 がいた。 をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、</td> <td>の試験を課す. ごれ験を課す. ごれ験を訳すり値を記さく)については可以のいては可以のいては可以を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V, 生命株学, 細胞情報科学を記すできる。 ままる。 ままる。 ままる。 関できる。 関係を説明できる。 はの作成について説明できる。 説明できる。</td>	成績の記している。 はしている。 はしている。 はいたでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	むね同じである。合計 よび評価基準>後期中間 よび評価基準>後期中間 が該判中間のでは が該当期末・学年を関係である。 責で60点以上を習りましたを はいでは、 はいでは、 はいでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結いできる。 はをでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	のれます。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	認できるにかいした。 できる評価を除いた。 がいた。 がいた。 がいた。 をは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す. ごれ験を課す. ごれ験を訳すり値を記さく)については可以のいては可以のいては可以を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V, 生命株学, 細胞情報科学を記すできる。 ままる。 ままる。 ままる。 関できる。 関係を説明できる。 はの作成について説明できる。 説明できる。		
受業計	3rdQ	く終験でくいく能履 週週週週週週 1週週週週週 3週週週週 600 700 80 10	成績の記している。 はいます では できます できます できます できます できます できます できます できます	むね同じである。合計 よび評価を選挙>後期中間 よび評価を選挙>後期中間 が該評価を期間の評 が該前期までの点域を 前のにプリントを配布 はプリントを配布 がピコースの諸講義、 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結びな 様 義丁 週.1 2.3.1 DN 転翻 遺 2.1 位 遺る ゲる 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問に対していていていた。 は一次していていていた。 がは、生体機能は、 がは、生体機能は、 がは、これでは、 がは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれり値を記 がより値を引 がはこのいては成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V,生命機学、無利学を記 は現代科学である。 できる。 関できる。 関できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 はき起こすことを説明できる。 に説明できる。		
受業計	3rdQ	く終験でくくいく能履 週 1週 2 3 4 5 6 7 8 9 10 <td>成績である。</td> <td>むね同じである。合計 よび評価を選挙>後期中間 よび評価を選挙>後期中間 が該評価を期間の評 が該前期までの点域を 前のにプリントを配布 はプリントを配布 がピコースの諸講義、 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は</td> <td>点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講</td> <td>で結びる 様 義丁 週. 1 2. 1 2. 1 3. 1 4. 標ぞいのわか は、 と N、 真 N、 1 5. 6. 3 2 6 1 で 1. さ 1 2. 1 3. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4</td> <td>のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ</td> <td>認問に対していていていた。 は一次していていていた。 がは、生体機能は、 がは、生体機能は、 がは、これでは、 がは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、</td> <td>の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれり値を記 がより値を引 がはこのいては成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V,生命機学、無利学を記 は現代科学である。 できる。 関できる。 関できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 はき起こすことを説明できる。 に説明できる。</td>	成績である。	むね同じである。合計 よび評価を選挙>後期中間 よび評価を選挙>後期中間 が該評価を期間の評 が該前期までの点域を 前のにプリントを配布 はプリントを配布 がピコースの諸講義、 は は は は は は は は は は は は は は は は は は は	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結びる 様 義丁 週. 1 2. 1 2. 1 3. 1 4. 標ぞいのわか は、 と N、 真 N、 1 5. 6. 3 2 6 1 で 1. さ 1 2. 1 3. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4. 1 4	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問に対していていていた。 は一次していていていた。 がは、生体機能は、 がは、生体機能は、 がは、これでは、 がは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれり値を記 がより値を引 がはこのいては成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V,生命機学、無利学を記 は現代科学である。 できる。 関できる。 関できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 はき起こすことを説明できる。 に説明できる。		
授業計	3rdQ 4thQ	く終験でくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	成績である。	むね同じである。合計 よび評価を集りを期中間 よび評価を関け間・多後期中間の が該当時でもの点域の範囲 > 2年次 が前りにプリントを配って はいでは、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次では、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次である。 はいでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に違して を上回った場合に については再試験 ること、 で生物学、3年次割し、その内容を講	で結びな 様 義丁 週.1 2.3.1 DN 転翻 遺 2.1 位 遺る ゲる 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問に対していていていた。 は一次していていていた。 がは、生体機能は、 がは、生体機能は、 がは、これでは、 がは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す. ごれ験を課す。 ごれ験を即すり値を記さく)については成績を再試験のが表しています。 は現代科学V,生命を学,細胞情報科学を 明できる。 できる。 明できる。 別できる。		
受業計	3rdQ 4thQ	く終験でくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10	成績で表示。	むな評価を表現のによりである。合計によび評価を実施をできませた。 合計には、	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に場合に を上回った場合に については再試験 でを上回いては再試験 でを上回いては再試験 ること・ でをかず、3年次ま し、その内容を講 及び専攻科の生る	で結びな 様 義丁 週.1 2.3.1 DN 転翻 遺 2.1 位 遺る ゲる 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問ない。 認問ないできます。 できに対している。 がいる。生生体機能をできます。 一部では、大きなできないでは、大きなできないでは、大きなできないでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれり値を記 がより値を引 がはこのいては成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V,生命機学、無利学を記 は現代科学である。 できる。 関できる。 関できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 はき起こすことを説明できる。 に説明できる。		
授業計	3rdQ 4thQ	く終験でくくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 3 4 5 9 1 1 3 3 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	成績で表示。	むな評価を表現のによりである。合計によび評価を実施をできませた。 合計には、	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に場合に を上回った場合に については再試験 でを上回いては再試験 でを上回いては再試験 ること・ でをかず、3年次ま し、その内容を講 及び専攻科の生る	で結びな 様 義丁 週.1 2.3.1 DN 転翻 遺 2.1 位 遺る ゲる 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細 細	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問ない。 認問ないできます。 できに対している。 がいる。生生体機能をできます。 一部では、大きなできないでは、大きなできないでは、大きなできないでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれりのではのいてはの成績を再試験のいてはの成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V、生命学をは現代和胞情報科学を認めてきる。 できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 「はいて説明」できる。 「はいて説明」できる。 「はいて説明」できる。		
授業計	3rdQ 4thQ /コアカリ=	く終験でくくいく能履 週 1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 3 4 5 6 7 8 9 1 1 2 3 3 4 5 9 1 1 3 3 3 3 4 3 3 4 3 3 4 3 3 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4 3 4	成績で表示。	むな評価を表現のによりである。合計によび評価を実施をできませた。 合計には、	点の60%の得点で 間・学年末の試験で 価で60点に場合に を上回った場合に については再試験 でを上回いては再試験 でを上回いては再試験 ること・ でをかず、3年次ま し、その内容を講 及び専攻科の生る	で結びた 様 義丁 週.1 2.3.1 DN 転翻 遺 2.1 で 1.1 で 1.2 1.3 1.4 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	のおきない。そのようでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	認問ない。 認問ないできます。 できに対している。 がいる。生生体機能をできます。 一部では、大きなできないでは、大きなできないでは、大きなできないでは、大きないでは、大きないでは、大きなでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の試験を課す。 ごれ験を課す。 ごれりのではのいてはの成績を再試験のいてはの成績を再試験の成績を再試験の成績を中分に理解しては現代科学V、生命学をは現代和胞情報科学を認めてきる。 できる。 関できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 関係を説明できる。 「はいて説明」できる。 「はいて説明」できる。 「はいて説明」できる。		

			_	_			
配点	100	0	0	0	0	0	100